

# だいにぎ議会だより



ドクターヘリ運航訓練

- 一般会計補正予算・審議された議案…………… (2)
- 行政報告・次回議会日程…………… (3)
- 一般質問(6人が登壇し、町政を問う)…………… (4)～(9)
- 研修会報告・人事・あとかき…………… (10)

No.  
**162**  
平成22年  
7月13日

# 可決された議案

平成22年  
第2回定例会

## 一般会計補正予算の主なもの

| 歳 出                   | 補 正 額       |
|-----------------------|-------------|
| 書庫整理業務委託料             | 1,612万 9 千円 |
| 脳ドック健診補助金（後期高齢者）      | 210万円       |
| 救急傷病者診療委託料            | 230万円       |
| 子宮頸がん予防接種委託料          | 1,060万 8 千円 |
| 女性特有のがん検診推進事業委託料      | 215万 4 千円   |
| 観光情報発信事業委託料           | 504万円       |
| 池田橋架替に係る路線測量及び橋梁設計委託料 | 1,150万円     |
| まちづくり交付金事業            | 1,844万円     |
| 住宅建設費                 | 1,025万円     |
| 文化福社会館自主運営促進事業委託料     | 282万 9 千円   |

**一般会計補正予算 9527万4千円の増額**

平成22年第2回定例会が、6月1日から9日までの会期で開かれました。

条例改正、一般会計補正予算、人事案件、21年度繰越計算書の報告など、町長提出議案9件、議員提出議案2件を、慎重審議し、すべて原案どおり可決しました。

一般質問では、6人の議員が登壇し、町政全般について質問が展開されました。登壇順に4～9ページに掲載しております。

## 提出議案等と審議結果

| 議案番号           | 議 案 名                                             | 結 果  |
|----------------|---------------------------------------------------|------|
| 町長報告<br>第1号    | 平成21年度大子町一般会計予算繰越明許費繰越計算書の報告について                  | 報告済  |
| 議案第49号         | 大子町税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて                | 原案承認 |
| 議案第50号         | 大子町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて          | 原案承認 |
| 議案第51号         | 平成21年度大子町一般会計補正予算（第10号）の専決処分の承認を求めることについて         | 原案承認 |
| 議案第52号         | 大子町職員の育児休業等に関する条例及び大子町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例 | 原案可決 |
| 議案第53号         | 大子町視聴覚ライブラリーの設置及び管理運営に関する条例の一部を改正する条例             | 原案可決 |
| 議案第54号         | 高規格救急自動車の取得について                                   | 原案可決 |
| 議案第55号         | 小型動力ポンプ付積載車の取得について                                | 原案可決 |
| 議案第56号         | 平成22年度大子町一般会計補正予算（第1号）                            | 原案可決 |
| 議案第57号         | 大子町教育委員会委員の任命について                                 | 原案同意 |
| 常任委員会<br>報告第1号 | 常任委員会審査報告（総務委員会2件）                                | 原案可決 |
| 議員提出<br>議案第2号  | 永住外国人への地方参政権付与の法制化に反対する意見書                        | 原案可決 |
| 議員提出<br>議案第3号  | 「選択的夫婦別姓を認める民法の一部改正」に反対を求める意見書                    | 原案可決 |
| 請願1号           | 米価の下落に歯止めをかけ、再生産できる米価の実現を求める請願                    | 継続審査 |
| 請願2号           | 残した地区の光ファイバー至急整備に関する請願書                           | 継続審査 |

## 第二回定例会 行政報告

「出資団体に関する事業報告」及び「平成21年度町税の収入状況」について報告が行われました。

①財)大子町開発公社事業については、全体の経常収益総額は5億914万918円で、これに対して経常費用総額は4億993万46679円で、979万4239円の黒字決算となりました。「フォレスパ大子」と「グリーンヴィラ」は、21年度より一体として管理をしています。

②奥久慈だご梁漁業組合事業も、20万5145円の黒字となりました。

③大子おやき学校事業についても158万5972円の黒字決算となりました。

④町税の徴収率は、全体で80・41%です。滞納繰越分の徴収アップが大きな課題です。



## 出資団体決算状況

〈財団法人 大子町開発公社〉

|        |                                      | 経常収益         | 経常費用         | 経常損益        | 利用者数                                    |
|--------|--------------------------------------|--------------|--------------|-------------|-----------------------------------------|
| 土地開発事業 |                                      | 568,849円     | 496,849円     | 72,000円     |                                         |
| 受託施設部門 | 大子温泉保養センター<br>「森林の温泉」                | 116,044,379円 | 110,058,675円 | 5,985,704円  | 99,720人                                 |
|        | 道の駅<br>「奥久慈だご」                       | 130,729,239円 | 126,224,741円 | 4,504,498円  | 154,836人                                |
|        | 八溝山展望台                               | 1,316,250円   | 1,316,250円   | 0円          |                                         |
|        | 袋田観瀑施設                               | 63,433,600円  | 63,433,600円  | 0円          | 822,792人                                |
|        | 東京理科大学<br>大子研修センター管理                 | 14,377,601円  | 14,377,601円  | 0円          | 1,389人                                  |
|        | 計                                    | 325,901,069円 | 315,410,867円 | 10,490,202円 | 1,078,737人                              |
| 広域公園部門 | フォレスパ大子・<br>オートキャンプ場<br>(21年度より一体管理) | 150,500,000円 | 151,267,963円 | △ 767,963円  | フォレスパ<br>55,937人<br>オートキャンプ場<br>34,698人 |
|        | 広域公園                                 | 32,171,000円  | 32,171,000円  | 0円          |                                         |
|        | 計                                    | 182,671,000円 | 183,438,963円 | △ 767,963円  |                                         |
| 合計     |                                      | 509,140,918円 | 499,346,679円 | 9,794,239円  |                                         |

|            | 経常収益        | 経常費用        | 経常損益     | 利用者数    |
|------------|-------------|-------------|----------|---------|
| 奥久慈だご梁漁業組合 | 54,471,242円 | 54,266,097円 | 205,145円 | 40,363人 |

|         | 経常収益        | 経常費用        | 経常損益       | 利用者数   |
|---------|-------------|-------------|------------|--------|
| 大子おやき学校 | 25,425,816円 | 23,839,844円 | 1,585,972円 | 8,220人 |

## 専決処分とは…

本来、町長が議会の議決・決定を経なければならぬ案件について、地方自治法の規定に基づき議会の議決・決定の前に処理することを行います。主に議会が開催されるまでの時間的余裕がない場合等について専決処分がおこなわれます。

## 9月定例会開催予定

9月

▽1日(水) 開会・提案理由の説明等

▽2日(木) 自宅審議

▽3日(金) 自宅審議

▽4日(土) 自宅審議

▽5日(日) 自宅審議

▽6日(月) 一般質問

▽7日(火) 一般質問

▽8日(水) 一般質問

▽9日(木) 逐条審議

▽10日(金) 逐条審議

閉会

議会傍聴は町政を知る良い機会です、お気軽にお出かけください。

手続きは、役場三階の傍聴席で受付簿に住所、氏名等を記入するだけです。



# 企業誘致と通信網の整備を

齋藤 忠一 議員



**問** 大子町は若者が町外へ流出してしまうという現状である。若者がこの町に定住するには、雇用の対策が一番重要だと思う。それには、企業誘致と通信網の整備が必要ではないか。

**答 町長**

若者に住んでもらうに

## 高齢者の健康づくりの推進を

**問** 今、大子町では大変高齢化が進んでおり、高齢者の皆さんには、なんといつても健康で明るく、長生きをしてもらうことだと思いが、町でもなお一層の健康づくりなどを考えていくべきではないか。

**答 町長**

高齢者の一番の願いは、

も、働く場の確保は大変重要である。企業誘致活動として、とりわけ地震災害が少ない、土地の値段が安い、労働力の質が高いなどといった、地域の特性をPRしている。また、通信網の整備は、当面118号線沿いの地域で光ファイバーの整備を進めており、総合計画にもありますように、26年度までには、全域光ファイバーの整備を考えている。

元気で長生きできることではないかと思う。今後は、高齢者の健康づくりに特に力を入れていく。更に、後期高齢者の脳ドック健診に対する助成措置の新設、シルバーリハビリ体操の普及促進、健康アドバイザーの活用、老人クラブやシルバー人材センターへの入会



送迎つき高齢者の健康づくり「湯ったり大子」

## 文化福祉会館「まいん」の

### 利用促進を

促進等により、健康と生きがいづくりに、一層の推進を図っていく。

**問** 大子町文化福祉会館『まいん』が、オープンか

ら一ヶ月が過ぎ、何度か大きなイベントも開催された



が、利用状況と問題点は。また、町中心部の活性化や水郡線などの利用促進のためにも秋の奥久慈大子祭りの開催など、益々の利用促進を図るべきだと思うが。

**答 町長**

『まいん』の利用状況は4月、5月の2ヶ月で6543人の利用があった。問題点は、先日のよさこい祭りでは、1万人以上の人が利用するとなると、トイレの問題である。

今後の利用促進は、地域の活性化や、商店街の活性化の拠点となる施設にしていきたい。そういう点からも、奥久慈大子祭りなども開催していただければと思っている。

## その他の質問

- 口蹄疫の感染対策について
- 救命措置について

# 山間地の農業のありかたは

金澤 眞人 議員



**問** 米戸別所得補償モデル事業及び水田利活用自給率向上事業の状況はどうか。

**答 町長**

現在の所、米戸別所得補償制度の該当者2696人の内490名から意向確認書の提出があり条件等を確認して対象者を決定する。

また、水田利活用自給率向上事業は該当者131人、面積22haとなっている。

**問** 今後必ず増えていく事が予想される遊休農地に対してどの様な方策を考えているか。

**答 町長**

20年度の調査では遊休農地が916haという結果だった。この対策としては国の耕作放棄地再利用緊急対策交付金事業、町単独で

は、遊休農地等景観整備事業などを行っており、その他にも各団体の要望や、農協等との請負事業なども利用してできるだけ遊休農地が出ないようにして行く。



山間地の農業

**問** 山間地の小規模農業の生き残る道として都市部への直売を考えてはどうか。

**答 町長**

規模の小さい農業にとっては、品質の良い物を作り高く売ることが重要な方向と思う。大子のおいしい米を直接消費者に販売する工夫をしている所である。

## デジタル放送に対し

### 今後の対応は

**問** 現在大子町におけるデジタル放送未受信地域及び世帯数は。

**答 町長**

今年の3月の時点で生瀬、依上、黒沢その他で約1600世帯であり、現在施設改修へ向け話し合っている。問 難視聴地域として指定

## 林業の振興と林地残材の

### 利活用について

**問** 森林湖沼環境税で行っている森林機能緊急回復整備事業の状況は。

**答 町長**

5年間で約2000ha、20年度423ha、21年度421ha、今年度390ha予定している。

**問** 森林作業の後に残る林地残材を木質バイオマスとしてボイラーや発電に利活用する動きがあるが対応は。

**答 町長**

将来、石油類の高騰などを考えると木質バイオマス

されると衛星放送を受信できると聞いているが。

**答 町長**

現在様々な方策を検討しながら話し合いを進めているが、受信点の有無や改修費の関係などから期限付きだが衛星放送の対象となる所も考えられる。

エネルギーの活用は重要と思う。今後の採算性や原料の供給体制等を見極めて検討して行く。

**問** CO<sub>2</sub>国内クレジット制度

に対しての取り組みは。

**答 町長**

国内クレジット認証委員会が認証した場合取り引きが可能だが、制度を見極めたいので対応して行く。

## その他の質問

○町営住宅の収支状況について



# 口蹄疫の感染拡大防止対策は

吉成 好信 議員



は1戸で155頭。

防疫対策としては、畜産農家266戸へ予防パンフレット、消石灰3袋、消毒薬1kgの配付、県と共に手紙や電話での指導をした。

問 消石灰や消毒液の配付は、飼育頭数に応じ配付すべきではないか。

答 町長

畜産組合からも配付されていると思うが今後引き必要ならば消石灰や消毒液の配付をしていく。

問 牛、豚、山羊、羊まで入れて何件調査したのか。

答 町長

口蹄疫対策は、基本的に県が実施することだ。山羊、羊については確認していない。畜舎には外部の人は出入りできないので、町は調査をしてない。

問 宮崎産牛の導入頭数と調査状況は。

答 町長

宮崎産牛は、大子町優良系統牛生産拡大事業で今年

問 宮崎県都農町で口蹄疫感染が確認され、6月3日現在、2市5町269施設で18万4000頭が感染を確認され殺傷された。国内での発生は、2000年に宮崎と北海道での発生以来である。

農水省は宮崎県内で感染が拡大する前の今年1月と4月に、韓国での口蹄疫発生を受け注意喚起の通知を各都道府県に出していた。

大子町における畜産農家数と飼育頭数、また、口蹄疫防疫対策はどうなっているのか。

答 町長

飼育頭数は、牛が約3000頭、豚が13000頭。大部分が高柴畜産団地で豚は4戸で13000頭、牛



4月に宮崎県都市から2頭導入したが、県北家畜保健衛生所で口蹄疫感染の緊

急調査を実施したところ異常は認められなかった。

## 東京理科大学への推薦入学の実現を

問 大子町は、大子二高跡

地を東京理科大学へ無償で

提供しており、清流高校から東京理科大学への推薦入学枠を確保すべきである。県の第二次県立高等学校再編基本計画によれば、清流高校の生徒数が今後大幅に減少した場合、統廃合も含めた募集停止等の対応が明記されている。推薦入学枠を確保することにより入学志願者が増えると考ええる。町と学校が一体となり取り組むべきである。

答 町長

昨年から東京理科大学と交渉している。清流高校へも東京理科大学と交渉するよう話している。

清流高校の校長も大学を訪問し依頼をしており、大学側も検討しているので、実現に向け努力する。

## その他の質問

○赤ちゃんの駅設置について

○子育て住宅へ入居できない方の対応

○子宮頸がん対策について

# 理科大へ推薦入学枠の要望は

大森 勝夫 議員



答 町長  
 推入入学については、担当課が昨年の12月に東京理科大を訪問し、推薦枠についての働きかけを行なった。清流高校へも町の意向を説明し、今年1月に清流高校から理科大へ、推薦入学枠の要望を文書で行なった。清流高校の校長も理科大を直接訪問して依頼活動を行なっている。今後も、清流高校と町とが一緒になって、理科大への推薦枠確保への働きかけを行なっていくきたい。また、理科大との交流事業は、理科教室などの実施を大学にお願いしているが、大学側で検討中になっている。理科大の吹奏楽部が研修センターで合宿をする際、「まいん」で発表会をおこなう計画がある。大学側には、地域貢献に協力してほしいという町の要望を文書などでも伝えている。

問 大子町は、東京理科大に旧大子二高跡地を無償で貸与している。この関係により、大子清流高校から、東京理科大への推薦入学枠を実現できないだろうか。年間100名を切る町の出生者数を考慮すれば、将来、清流高校の志願者数の減少による高校存続問題が懸念される。清流高校と他校との違いを明確にしていく対策を、町からも働きかけることが重要ではないか。

また、理科大との交流事業が進んでいない。小中学校との理科教室だけでなく、民間との交流も実現することで、町の長所を知ってもらい、学生間での口コミによる宣伝の広がりから、町への経済効果へつな



町内に高校が存在する意義はとて大きい

## 気象警報の市町村ごとの 発令への対応は

問 気象警報が市町村単位で発令されるようになった。警報発令後の対応や町

民への周知手段などの対策はどう考えているのか。また、消防団員への携帯

電話での伝達システムを応用して、気象警報を伝えられないか。気象災害の出勤に対する団員の事前の心構えもできるし、団員から近所などへ、気象警報の発令情報の広がり期待できるのではないかと。

答 町長

大きな気象災害は台風などによるものが多く、テレビ、ラジオなどで情報が伝達される。災害発生後は地域防災計画に基づく対応となる。消防団員への伝達については、現システムでは対応できない。出勤要請との混同も予想されるので、今後検討していきたい。

## その他の質問

○大子まつりの商店街開催の可能性は



# 文化福祉会館の問題点改善を

佐藤 正弘 議員



法の課題だ。映画用スクリーンは、利用状況を見て検討する。

問 会館利用団体の、減免規定が明確でないが、その対策は。

答 町長

問 受付カウンターが狭い、東側出入口に庇がない、社会福祉協議会と観光協会の間仕切り、映画用スクリーンが小さい等設計上の問題点がある。改善をすべきだ。

答 町長

受付カウンターは、利用方法で対応できる。東側入口は、庇を取り付ける。社会福祉協議会と観光協会との仕切りは、建築基準

## 情報基盤整備の現状と対策は

問 携帯電話の不感地域、テレビのデジタル放送が受信できない地域と世帯数は。また、その対策は。

答 町長

携帯電話の不感地域は、

11地域で147世帯。22年度に榎野地高野、西金入湯沢、冥賀中妻、内大野矢倉を整備し、23年度は榎野地百合平、大生瀬三ヶ掛、栃原新田の整備を予定してい

る。残りは4地域となる。

デジタル放送が受信できない地域は、生瀬地区600世帯、依上地区300世帯、黒沢地区300世帯、

その他300世帯で、34組合1600世帯である。町

として関係機関と連携をとり動いている。来年までに

対応できない場合、衛星放送を使用して対応するとされているが、どこまで受信

できるかは未知数である。

問 上小川（一部地域を除く）、袋田、大子、宮川地区で光ファイバーの整備が

開始されるが残りの地域の整備は。

答 町長

平成26年度までに全地区整備する。根拠は、国の全国100%光の道整備方針である。

問 今後ますますパソコンの重要性を増すと思われるが、町主催でパソコン教室等を実施する計画は。

答 町長

希望者が沢山あれば検討する。

## 雇用対策の規模拡大は

問 緊急雇用対策の規模の拡大、雇用に当たっては公募等の透明性が求められるのではないか。

答 町長

雇用対策の予算は、前年比で45%増で、5274万円となっている。雇用は、透明性を持った公募を中心に行っている。



狭い受付カウンター



# ソフト事業向け過疎債の使途は

野内 健一 議員



問 住民の交通手段の確保という面で、デマンド交通「乗り合いタクシー」の整備は、考えられないか。

答 町長

対象になると思うが、現在の町民無料バスをもう少し充実させてから、デマ

## 各種検診の受診率向上と 予防医療の充実を

問 4月に施行された「改正過疎地域自立促進特別措置法」の中で、過疎対策事業債の対象内容がソフト対策事業と改正され、大子町として発行が認められた過疎債の上限は、7700万円とのことだが、地域医療の確保についてはどのような事業が該当するか。

答 町長

過疎債のソフト事業の内容としては「地域医療の確保」、「住民の交通手段の確保」、「集落の維持及び活性化」、「住民が将来にわたり安全に安心して暮らすことの出来る地域社会に実現を図る経費」となっている。

地域医療の確保については現在、水郡医師会に対し24時間体制で診療を依頼し

ド交通を検討したい。

問 住民が安全に安心して暮らすことの出来る地域社会の実現という面において、本町が推進している子育て支援、特に保育経費の軽減策に適用できないか。

答 町長

この過疎債の対象になるかどうかは、はっきりしていない。もし、対象にならない場合でも、町が単独事業としているものと、財源の振り分けをすれば可能なので、実施に向け検討する。

問 特定検診の受診状況が先日公表され、今年の受診率は目標値に至らないばかりか、昨年より下回りそうとのことだが、他のがん検診等も含め受診率をアップする方策は。

答 町長

学校教育の中で、病気の予防について教えていくことと、がん予防推進委員の活動を積極的に支援していくことも有効と考える。

答 町長

ヒブワクチンについては国が実施すべきと思うが、肺炎球菌ワクチンについては、今後検討する。

問 町長や議長が各種団体



各種検診を受診しよう



# あの北斎が4度も訪れた町

「お互いの知恵、交流があつてこそ町づくり」、関悦子小布施町議会議員が語られた。

この度の議員研修視察にあたり、「今、太子町として必要なもの」「外に何を学ぶべきか」を研修視察委員会で協議し長野県小布施町へ向かい「協働のまちづくり」を体感してきた。

小布施町は、果樹栽培の盛んな農村で美しい自然環境に恵まれ、長野市まで車で30分という所に位置する。「北斎と栗の町」「歴史と文化の町」として全国からも注目され、年間120万人が訪れる町である。

関議員は、120万人の観光客ではなく、120万人の来訪者」と語られるように、来訪者のリピート率は3・19という高い数値である。4度



六斎舎にて研修

もこの小布施を訪れ、滞在した北斎は、この街の豊かな人情味に惚れたのではない。

昭和51年に葛飾北斎の画業を讀るとともに、肉筆画を保存、展示するため北斎館が建設され、北斎の町として芸術文化の町として芸術文化のまちづくりが進められている。

また、「協働のまちづくり」として町民参加による

町内約100軒方々が丹精込めた庭を来訪者に見学させる「オープンガーデン」には、「町を愛する心」「おもてなしの心」を学んだ。農産物についても、付加価値を付けた「栗」の特産

## 全国議長・副議長研修会に参加

5月18・19日東京において町村議会議長・副議長研修会が開催され、藤田議長とともに参加しました。

1日目は、内閣総理大臣補佐官逢坂誠二氏、日本森林管理協議会代表大田猛彦氏、榊一市村酒造場代表取締役セーラ・マリ・カミングス氏らの講演が行われた。

逢坂氏は、現状の中央集権から地域主権に変えていかねば地域の活力は生まれず、ひも付き補助金を廃止して基本的に地方が自由に使える一括交付金にしてゆく方針であるなど地方への取り組みが話された。

大田氏は、現在の日本の山林面積は、江戸時代以降最も多い状態だそうで、町村の皆さんがアイデアを出して、それらの資源を地

菓子が多く販売されている。

「ほっとするまち、また来たくなるまち」小布施の街づくりに多くを学んだ。

(研修視察委員 藤田友晴)

域づくりにつなげてほしいと話された。

また、セーラ氏はアメリカから日本に来て、文化習慣の違いに戸惑いながら小布施の町づくりに関わってきた自分について話された。

19日は、北海道今金町、

神奈川県葉山町、長野県小布施町、福岡県荏田町の各議長が討論するシンポジウム「議会の活性化と町づくり」が行われ、議会基本条例の制定、通年議会の実施、政策立案委員会の設置などが論議された。

住民の声を行政の実行に結びつける等の努力をしてゆく事が議会活動の中では重要なことであると感じた。

(副議長 仲野 廣)

教育委員に  
出村 尚英氏  
でむら しやうい



太子町教育委員会委員の高梨保彦氏の辞職に伴い、後任として出村尚英氏(太子町袋田)を任命することに同意しました。

任期は、前任者の残任期間で6月16日から9月19日までです。

## 太子町議会 広報委員会

|      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 藤田 友晴 |
| 副委員長 | 佐藤 正弘 |
| 委員   | 大森 勝夫 |
| 委員   | 齋藤 忠一 |
| 委員   | 鈴木 陸郎 |
| 委員   | 藤田 稔  |
| 委員   | 野内 健一 |
| 委員   | 吉成 好信 |
| 委員   | 小林 秀次 |
| 委員   | 藤田 健  |
| 委員   | 仲野 廣  |

## あとがき

第5次総合計画の概況では、太子町の人口は昭和30年の合併時の4万3124人から平成21年10月現在では2万312人と減少し、少子高齢化、農林業の衰退、学校の統廃合、地域相互援助機能の衰退など課題が顕在化しています。今日太子町の現状を誰が予想していたでしょうか。

本来なら縮まるはずの都市と地方の格差は、ますます広がっているのが現状ではないでしょうか。

町民こそ「主人公」が自治体の原点ではないでしょうか。私たちは、町民の様々な要求の実現、町民と共に進む議会をめざし奮闘していききたいと思っています。

(前広報委員 佐藤正弘)

## 今回の表紙

ドクターヘリの運航開始で救急患者の後遺障害の軽減や救命率の向上が期待されます。

(藤田 健 議員撮影)